

日本共産党

杉並区議会議員

党区議団
副幹事長

金子 かねこ けんたろう

1976年3月新宿生まれ。都立松原高校卒業。2011年4月に初当選し、現在2期目。都市環境委員長、災害対策特別委員長を歴任。党区議団副幹事長。下高井戸在住。家族は妻



WEB: <http://kanekokentaro.jp/>

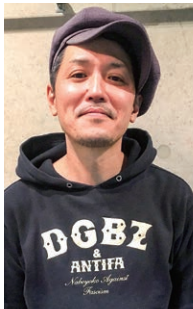


許さない!

児童館・ゆうゆう館の廃止

いのちとくらし 最優先の区政へ

- 国民健康保険料と介護保険料の引き下げ
- 認可保育園の増設。区立保育園は直営を守る
- 特養ホーム、グループホームの増設
- 働く人や地元業者を守る「公契約条例」の制定
- 「子どもの貧困」克服緊急対策の確立



小さな声を区政に届けて

声の大きな金持ち達が、さらに金持ちになりやすい仕組みばかりを作り出すこの社会の中で、貧乏人のか弱き声を「金子けんたろう」は耳を傾けてくれます。この小さな声を区政に届けてもらいましょう。ケツ蹴りあげて、仕事させましょう。

「麺屋どうげんぼうず」店主
近廣直也 (杉並区在住)



『地域の危険な塀をなんとかして』『水害対策をよろしく』『田中区長の税金の無駄遣いをやめさせて』などアンケートに寄せられた声を議会に届け、実現のために力を尽くしてきました。社会

保障を切り捨て、消費税10%をねらう安倍自公政権を許さず、区民の暮らしを守り、無駄遣いをしない区政が求められています。「困った人を最優先」に、ひきつづき全力でがんばります。

暴走政治 ストップ!

9条改憲、消費税10%増税ノ

区政の闇 公用車乱脈利用の全容を告発



「公用車で選挙応援」「金子議員がただす」区長公用車の乱脈利用を追及した私の質問は各紙でも報道されました。私は、「税金の浪費・私物化は許せない」、そんな思いから利用実態を徹底調査し区長を追及することができました。

私の提案で、区は「公用車の運用基準」を23区で初めて作る結果となりました。

● 災害現場に急行、即申し入れ、塀の改修助成金も

- 都、区で対策がとられることになりました。
- 震災対策でも、先駆的提案で感震ブレーカーへの助成、危険なブロック塀改修への助成が始まりました。

区民の生命財産を守ることは区政の最優先課題です。久我山駅前の水害現場に直行するとともに、都に申し入れをし、本会議でも質問。



● 商店への個別支援、質問ではじめて検討へ

地域の商店街は街の宝です。私は本会議質問で商店街への支援強化とともに、都内で始まっている個々の商店への支援を区でも実施するよう提案。

区もはじめて検討を表明しました。

● 障害があっても誰もがスポーツをと区に迫る

区長も「障害がある人が身近な地域において」と必要性を認めました。

障害があっても誰もが地域でスポーツに親しめなければなりません。私は本会議質問で、年1回や2回のイベントだけでなく各地で教室を開催することを提案。

● 暮らし支援 国保料引き下げ条例提案

家計に重い負担となっている国保料の連続値上げの中止を迫るとともに、日本共産党として多子世帯の保険料軽減条例を提案しました。さらに認可保育園、特養ホームの増設、子ども食堂への支援、認知症グループホームへの家賃助成などを提案してきました。

国保料軽減の条例提案は、いったん継続審議となりましたが、12月議会で、自民・公明・立憲民主などが反対し、否決されました。